



第7図 10W防湿型ブラケット

10W 防湿型 ブラケット市販開始

日立製作所では、このほど家庭用蛍光灯の新製品として10W 1灯用防湿型ブラケットを発表、市販を開始した。

この家庭用防湿型ブラケットは長期の試作研究を経たもので、メーカー品としては最初のものであり成果が注目されている。

同製品は器具本体とプラスチックカバーとの間に良質なゴムパッキンで密閉しており、外部の湿気を完全に防止できるから、浴室、台所、洗面所、そのほか門灯などに最適である。

なお取付けもきわめて簡単である。

ニューデザインの 小型ホームスーパー発売

日立製作所ではこのほどパーソナルタイプの小型5球スーパー、B-568型を発売した。

このセットは現在発売中のH-202型小型5球スーパーの姉妹品で音質のよい木製キャビネットを使用しており、規格はH-202型と同一であるが、新しい特長としてイヤホンでも聴くことができるように、セットの左側面に自動切換式のイヤホンソケットを2個装備し、デザインは一段と改良を加えられ、明るく上品な感じとなっている。

規 格

回路方式	5球スーパー・ヘテロダイ
受信周波数帯	535~1,605 kc
使用真空管	12BE6, 12BD6, 12AV6, 35C5, 35W4
感 度	極微電界級
電 気 的 出 力	1 W
電 源	100V 50/60~
消費電力	23 VA
スピーカ	4吋 HS-40型 パーマネ ントダイナミック型
イヤホンソケット	2個 (E-231型 日立クリ スタルイヤホン使用)
アンテナ	ダストコアー・アンテナ自蔵 外部アンテナ端子付、補助 アンテナ線2m附属)
寸 法	幅300mm、高さ156mm、 奥行144mm
重 量	2.2 kg



第8図 日立ラジオ B-568型小型5球スーパー

パワーアタッチメント方式と 3Z4使用の新型ポータブル発売

日立製作所がこのたび新機構のパワーアタッチメント方式を採用した、高性能4球3ウェイポータブルBH-421型を発売した。

このパワーアタッチメント方式とは、電灯線で聴く場合の整流回路をセットから外部に出し、特殊な電灯線接続コード(パワーアタッチメント)の中に組込んだもので、これによりセットが一段と小型軽量化されるとともに、セットの内部に発熱部分がないため、故障も少く取扱いも簡単になるなど、高度に合理化されている。

そのうえこのセットには高感度のフェリスティックアンテナと特殊設計のI.F.T.を使用しさらに、5段伸縮のロッドアンテナを備えているので、感度、分離が鋭く、また3.5インチのスピーカと出力の大きい新型真空管3Z4の使用により、豊富な音量で美しい音色が得られる。

キャビネットは流行のツートーンカラーをとり入れたスマートなフラットタイプで、持運びに軽快であるとともに、所属のショルダーケースにおさめたままでも、すべての操作ができる便利な設計になっている。そのほか電源電圧の変動に応じて電圧が切換えられるよう切換スイッチもつき、屋外はもちろん屋内ではホームラジオとして、十分な性能をもつすばらしいセットで、いずれも



第9図 BH-421型日立ポータブルラジオ

日立 ニュー ス

イヤホン1個と高級皮ケース付である。

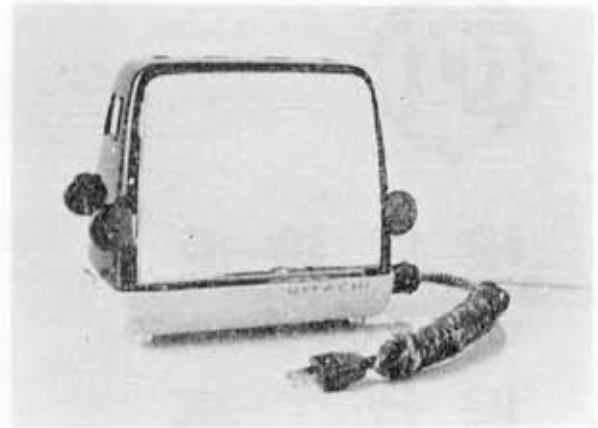
規 格

回路方式.....	パワー アタッチメント方式3ウェイ4球ポータブルスーパー
受信周波数帯.....	535~1,605kc
中間周波数.....	455kc
使用真空管.....	1AQ5 (1R5-SF), 1AM4 (1T4-SF), 1AS5 (1U5-SF) 3Z4
電 源.....	100V AC/DC 8W A電池 UM-1A (特単1号) 1個 B電池 BL-045 1個
スピーカ.....	3.5インチ、パーマネントダイナミック型
イヤホンソケット.....	2個 (E-211 日立タリスタルイヤホン使用)
アンテナ.....	180mmフェリスティックアンテナ自蔵 5段伸縮ロッドアンテナ附属
寸 法.....	幅 194mm 高さ 128mm 奥行 57mm
重 量.....	1.2kg (電池共)

実用型トースター発売開始

日立製作所では実用型トースターとして新製品「日立トースター HTK-4型」を市販した。

日立トースターの特長である船底型のベースがレバーを押すだけで取りはずせる方式はこの新製品にも採用さ



第10図 実用型トースター

れている。色は赤、緑、黒の三種類を揃えている。主たる仕様と特長はつぎの通りである。

仕 様

400W 100V ターンオーバー式

特 長

- (1) 船底型のベースが取りはずせるからパン屑の掃除が容易にできる。
- (2) ドアへのメッキは銅、ニッケルクロームの三重高級メッキである。
- (3) 両側の窓が大きくとつてあるためむらなくパンを焼きあげることができる。

編集後記

国鉄の近代化計画によれば、幹線の交流電化とともに、並幹線および支線のディーゼル化が立案せられているという。また、南米および東南アジア諸地域の鉄道開発は、ほとんどディーゼル化によつて行われている実情である。このような理由から、近年ディーゼル電気機関車への関心は非常にたかまつているが、それというのも、最近におけるディーゼル機関および電気式動力伝達装置の著しい進歩が、大きくものをいつていることはいうまでもない。このときにあたつて、日立製作所が、本邦最大の1,900馬力ディーゼル電気機関車を完成したことは、まことに意義深いものがあるといわなければならない。本号に発表されたその概要は、広く斯界の関心を集めるであろう。

一家一言には学術会議副会長兼重博士の玉稿を頂くことができた。ともすれば華やかな成果にのみ眼を奪われ

て、その蔽につみ重ねられた地道な努力をうとんじ勝ちな日本人の通弊を、含蓄深く説きさとされる博士の言葉は読めどもつきない滋味にあふれている。来るべき原子力の時代を見事に勝ちぬくための心がまえと態勢とを、われわれはこの教訓の中から多く汲みとることができるであろう。なおこの玉稿は3月4日に頂戴したものであるが、編集部都合で本号に掲載させて頂いたものである。編集部の我侪をお許し下さつた博士の御好意に対し、誌上を借りて厚く御礼申上げる次第である。

本号には恒例の前半期総目次を巻末にそえた。日立評論を年一冊の合本にまとめるときは、2,000頁をこえる大冊となり、取扱いにはなほだしく不便を生じるので、一昨年度より、年二冊に分割合本しうるようになり、総目次を前期と後期とに分けて掲載することとした。御利用頂ければ幸甚である。

日立評論 第39巻 第6号

昭和32年6月20日印刷 昭和32年6月25日発行

(毎月1回25日発行)

<禁無断転載>

定価 1部 100円 (送料 12円)

© 1957 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人

鈴木 万 吉

印刷人

本 間 博

印刷所

株式会社日立印刷所

発行所

日立評論社

東京都千代田区九ノ内1丁目4番地

電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311

振替口座 東京 71824番

取次店

株式会社 オーム社書店

東京都千代田区神田錦町3丁目1番地

振替口座 東京 20018番

広告取扱店

広 和 堂

東京都中央区新富町2丁目16番地

電話 築地 (55) 9028番